

カナダ・ビーバーレーク視察旅行レポート

日 程：平成24年9月10日~9月15日

参加者：安田浩二理事長 松本豊前理事長 早藤和代、安田先生の生徒さん1名

内 容：**9/10 Arrive in Toronto, travel to Sumac**

飛行機が予定時刻より遅れて到着したトロント空港には、Victorさんが待機して迎えてくださいました。約4時間のドライブでビーバーレークのSumacロッジに到着。Sumac Lodgeとはこのロッジの名称で、Sumacはこのあたりに自生している植物の名前です。



<http://www.beaverlakehomestay.ca/saito/BeaverLakeHomeStay.html>

直美さんとも再会！手作りの温かいコーンチャウダーをいただき、Sumac Lodgeのドン（？）Paulさんともお会いし歓談。精神的なリーダーのようで、もっとゆっくりお話をする時間が取れたら、と残念に思っています。素敵なお部屋で気持ち良く就寝。



9/11 Tour of Sumac and local area

Sumac Lodgeで目覚めて窓のスクリーンを開けるとビーバーレークの湖面が鏡の役割を果たし、空や森を映し出している！見たことのない風景に息をのむ。

朝霧の湖の畔を散歩した後は、おいしい朝食と珈琲を頂きバカンス気分。

朝食後、Victorさんが森の散策に案内してくださいました。Sumac Lodgeからレーク沿いの森を歩きます。メイプルや松など様々な木々が自生していて豊かな森です。Victorさんのご自宅とホームステイができる建物であるまだ建築中のロングハウスまで、ビーバーのダムや、ビーバーがかじった木を見ながら、そして森の話を聞きながら歩きました。



ビーバーがかじって倒れそうな木や枝、風雨に倒された木を森から運び出して、暖房などの燃料にする過程も説明していただきました。自然との共存は、コツコツと辛抱のいる作業です。しかし非常にすがすがしい。

ホームステイできるロングハウスの方に着くとShepherd's pieを直美さんが用意してくださっていました。こちらのロッジはさすが日本人の奥様がおられるだけあって、ウォシュレットのトイレがありました！



食事の後、Victor直美ご夫婦の長女である葉月ちゃんを通う小学校の見学に連れて行っていただきました。とてもアットホームな小学校で皆さん気持ちよく歓待してくださり、クラスの様子も少し見学することができました。





その後、周辺に住む芸術家たちのスタジオを見学。ステンドグラス、ろうけつ染め、陶芸のそれぞれの工房を訪問し、作り方も見せていただきました。芸術家の方々は皆さんフレンドリーで、とても歓迎してくださり楽しいひと時を過ごしました。充実した一日。日本から生徒が来たときは、このどれかを体験することになるでしょう。物を創りながらアーティストの人たちと色々なお話を英語ですることは、とてもいい経験になると思います。また、思い出の一品も持ち帰れることもとても素晴らしいことです。



9/12 Ottawa: Canadian History and Culture

朝は素晴らしい景色の中で目覚める。

ゆっくりとおいしい朝食をいただき、オタワに向けてドライブ。約2時間で美しいオタワの街。スイスのベルンのような豊かな緑と水の流れ、イギリスの国会議事堂を思い出させるパーラメントヒルや博物館を見ながらカナダの歴史が学べる **Museum of Civilization** へ。博物館のカフェテリアで昼食。景色がとってもきれいでした。個人的には先住民族の生活様式などに興味があったので少し残念ではありましたが、アメリカやカナダの各地に入植した人たちの開拓時代の様子などが詳細に展示されているので、

その時代の歴史を学ぶには最適なmuseumでした。



museumの後は、安田先生の教え子の生徒さんと待ち合わせアイリッシュパブへ。異国の地で教え子が生き活きと活躍している様子を見ることは、何より嬉しいものですね。

ビーバーレークへの帰路、世界一Greenな（環境に配慮した）レストランでディナー。

車中では安田先生がクイズを出したり、冗談話しにも花が咲いてあっという間に時間が流れていきました。ロッジ到着後は、Victorさんのホームステイプログラムのプレゼンがありました。長い道中だったので、ほぼ夢の中で聞いていた私たちでした。



9/13 Prince Edward County & Winery Tour

すがすがしい目覚め。朝の散歩。

朝食をいただき、オンタリオ湖の壮大さを感じながらPrince Edward County へドライブ。



ワイナリーを見学後、Lake on the Mountainのレストランでランチ。

淡水の湖岸で世界一長いと言われているSandbanks Provincial Park のビーチを散歩。まるでゴールドコーストかと思うような延々と続く白い砂浜。ああ、水着を着こんでくれば良かった！



安田先生は湖で釣りがしたいと、途中魚の餌をご購入！
夕方Sumac Lodgeに帰るや否や釣り糸を垂れる。



早藤は、葉月ちゃん、夏樹ちゃんとしばらく遊ぶ時間があり癒されました。
二人は、まさにビーバーレークの天使たちです。



夕食にMoose (ヘラジカ) のローストをご用意してくださいました！ 松本先生はビールを楽しみ、うたた寝…

9/14 Niagara Falls

ナイアガラの滝に向けてSumacを出発。約5時間余りのドライブ。途中、安田先生リードのクイズ大会、しり取りゲームで車内は大盛り上がり。疲れもなく到着。 Maid of the Mist (boat tour)、Journey Behind the Falls (Tunnels underneath the Falls)は参加した私たち誰もが初めてで感動、感激の体験でした。



滝の近くのレストランでディナーを食べた後、ライトアップされた滝を見に歩いて行くと花火が打ち上げられ、しばし立ち止まって楽しみました。この夜は St. Catharinesのホテルで宿泊。

9/15 Shopping in the Morning

この日、帰国する安田先生と孝太郎君はおみやげ探しにWalmartへ、早藤はCostco見学へ。松本先生は再度ベッドへ。午後2時過ぎのフライトへ安田先生たちをトロント空港まで見送る。

松本先生はもう一泊トロントでステイ。早藤は元教え子の生徒さん達を訪問するためあと2泊トロント滞在。



日本にもたくさん自然はあるのですが、あまりにも私たちはそれとかけ離れて、意識せずに過ごしているように思います。自然の中で活かされている自分を体感できた時、生きる力がふつふつとわきあがってくるように思います。ビーバーレークでは、ほぼ手つかずの自然の中に自分を置くことができます。

森の緑、湖面を転がる光、風の音、キツツキが木をつつくリズムカルな音。

“何もない”中に“すべてがある”。何もしない、をしに行くにはうってつけの場所です。

ビーバーレーク湖畔には人目を遮れるところにポツンと椅子が置かれていました。

内観、瞑想をするために置いてあるそうです。



到着した9月10日の森はまだまだ緑が光っていましたが、1週間後帰るときには、すでにメイプルの葉っぱが黄色く色づき始めていました。2週間後に直美さんから届いたメールによると、朝はもう氷点下かと思うほど冷え込んでいると。紅葉に彩られた森や、氷で覆われたビーバーレークも別世界のように美しいに違いない。やる気が出てこない生徒さんや、疲れて目標を失ったおとなの生徒さんたちには是非お勧めしたいところです。

おみやげに、ビーバーレークで自家製したメイプルシロップを頂きました。

実際に樹液を取った木をみせてもらった今、トーストにぬるメイプルの味が今までと全く違っています。

早藤和代記